

結核感染症の検査について

最近、肺結核など結核に感染したのではないかと患者さんの受診が増えてています。結核は純粋に【空気感染】する抗酸菌で、感染力が非常に強いため、同じ車両やバスに乗り合わせただけでも感染します。また、結核菌の特徴は「胸郭など感染臓器構造の破壊が激しい」ということです。放置して治る疾患ではなく、進行すると生命をも脅かし、近隣の方々にも爆発的に感染が拡大しますので、早めに受診をお願いします。

同じ職場や教室に感染者が明らかになった場合、結核検査を指示されて当院受診を指示されて受診するケースが多いのですが、結核は肺だけの感染症ではなく、常に全身への感染の可能性を念頭に置く必要があります。

肺結核を始めとしたが疑われるときには以下のような検査を行います。

基本的に疾患の疑いが出て受診されるわけですから健康保険適用になりますが、中には検診目的での受診の方もおられ、その場合には自費検査になります。

1. 胸部単純レントゲン写真(2方向)

現在の肺や気道・胸郭への感染の有無が分かります。

2. ツベルクリン反応

現在の感染の可能性だけでなく、結核に対する免疫の有無がわかります。

⚠陰性の場合、BCGをお受けになることをお勧めします。

3. 血液検査

BCG接種の有無にかかわらず、血液検査で感染の有無を検査することができます。

① クウォンティフェロン(QFT)検査

結核菌群特異抗原で血液を刺激し、産生されたインターフェロン- γ の総量を測定します。一般向け

② T-スポット検査

インターフェロン- γ を産生した細胞(スポット)の数を測定。免疫が弱っている人向け

※ 健康診断でQFTまたはT-SPOT検査を指示される方がおられますが、その際の検査費用は
いずれも1回8,800円(税抜き価格)になります。

4. その他必要に応じて、喀痰培養や、結核菌群核酸同定(TRC)(喀痰)なども可能ですが、以上をスクリーニング検査として、それ以降の諸検査を精査として行い、治療につなげて行くこととなります。



尾山台ファミリークリニック
OYAMADAI FAMILY CLINIC